

# I 計画の概要

## 1 計画策定の趣旨

配偶者からの暴力（以下「DV」という。※1）は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害として、個人の尊厳を害し、男女平等の実現の妨げとなるものであり、DVを許さない社会の実現に向け、積極的な取組が求められています。

このため、平成13(2001)年4月、DVに係る通報、相談、保護、自立支援等の体制を整備することにより、DVの防止及び被害者の保護を図ることを目的として、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」（平成13(2001)年法律第31号。以下「DV防止法」という。）が制定されました。

本県では、平成16(2004)年のDV防止法の一部改正により、都道府県基本計画の策定が義務づけられたことを受け、国の「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための施策に関する基本的な方針」（以下「基本方針」という。）を踏まえて、平成17(2005)年11月に「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する基本計画」（以下「基本計画」という。）を策定し、以後三回にわたり改定を行い、DV防止に向けた各種施策を総合的に推進してきました。

本県の配偶者暴力相談支援センターにおけるDV相談件数をみると、平成25(2013)年度以降、2,000件前後で推移していますが、最近では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるDVの潜在化や深刻化が懸念されている状況にあります。また、DV被害者（以下「被害者」という。）のうち約5割の方はどこ（だれ）にも相談しておらず（※2）、適切な支援につながるよう一層の取組が求められています。

さらに、被害者の抱える問題が多様化しており、従来の支援方法に加え、個々の状況に応じたきめ細かな支援が求められています。

このたび、基本計画（第3次改定版）が目標年次を迎えることから、令和元(2019)年6月のDV防止法の改正や令和2(2020)年3月の国の基本方針の改正を反映させるとともに、これまでの取組状況や社会情勢等の変化等も踏まえながら、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する基本計画（第4次改定版）」を策定するものです。

※1 DV「ドメスティック・バイオレンス（Domestic Violence）」の略。直訳は、「家庭内の暴力」となりますが、この計画では「配偶者からの暴力」及び「生活の根拠を共にする交際（婚姻関係における共同生活に類する共同生活を営んでいないものを除く。）をする関係にある相手からの暴力」を「DV」とします。

※2 内閣府「男女間における暴力に関する調査結果」（令和2(2020)年度）

## 2 計画の位置づけ

- (1) DV防止法第2条の3に基づき策定するものであり、策定に当たっては、同法第2条の2に基づき国が策定した基本方針を踏まえています。
- (2) 栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」に掲げる安全・安心なとちぎの実現に向けた「暮らしの安全・安心向上プロジェクト」の重点的取組の一つに位置づけられています。
- (3) 本県における男女共同参画行政施策の基本的方向と具体的施策を明らかにした「とちぎ男女共同参画プラン〔5期計画〕」との整合性を図りながら、DVの防止及び被害者の保護等の基本的方向性を示すものです。
- (4) 本計画は、人権が尊重される社会の実現や暴力の根絶をめざしており、平成27(2015)年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）のゴール5「ジェンダー平等」及びゴール16「平和と公正をすべての人に」などと理念を共有するものです。

## 3 計画の期間

令和4(2022)年度から令和8(2026)年度までの5年間を計画期間とします。

なお、今後、DV防止法の改正や国の基本方針が見直された場合、又は新たに盛り込むべき事項が生じた場合には、必要に応じて計画を見直すこととします。

## 4 計画の策定体制

### (1) 栃木県DV対策基本計画（第4次改定版）策定委員会の設置

この計画を策定するに当たり、DV対策の施策に関する学識経験者や弁護士、ソーシャルワーカー、民間支援団体、関係機関、市等で構成する「栃木県DV対策基本計画（第4次改定版）策定委員会」（以下「委員会」という。）を設置しました。

### (2) 栃木県DV対策基本計画（第4次改定版）策定委員会ワーキンググループの設置

この計画の基本的事項を検討するため、委員会の下部組織として、県・市・関係機関の職員で構成する「栃木県DV対策基本計画（第4次改定版）策定委員会ワーキンググループ」を設置しました。

## 5 計画の推進

この計画の推進に当たっては、栃木県の関係部局、国、市町、民間支援団体等の関係団体が連携して施策に取り組めます。

また、この計画に基づく各種施策の推進状況を把握し、課題等について検討していきます。